

法人格	フガナ	ラ・ファミリエ	フガナ	マツダ ヒロシ	団体設立日	平成14年7月28日			
有	団体名	ラ・ファミリエ	代表者名	松田 博	法人設立日	平成14年8月30日			
活動地域	愛媛県内			正会員	賛助会員	事務局	ボランティア		
主たる活動の種類	慢性疾患児・家族の滞在施設の運営		個人	95人	259人	有償	2人	有償	9人
従たる活動の種類	難病や障害を持つ子どもや家族を支援する活動		団体	30人		無償	無償		
所在地	〒790-0026 松山市室町74番地2		単位千円	収入合計	会費	寄附金	自主事業	委託事業	助成金
TEL	089-935-6437		18年度	9,916	953	1,785	4,618	2,200	360
FAX	089-935-6437		17年度	10,672	754	1,180	4,627	700	3,411
Eメール	famille@npo-lafamille.com		16年度	6,692	805	850	3,443	1,204	390
ホームページアドレス	http://www.npo-lafamille.com/								

\*下記は、箇条書きでわかりやすくご記入ください。

団体設立のきっかけ	自己評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 難病や障害を持つ子どもや家族が我が家のようにくつろげる滞在施設「ファミリーハウス」を愛媛にもつくることを目標に前身の「愛媛ファミリーハウスをつくる会」を平成13年に設立</li> <li>・ 敬宮愛子様ご誕生慶祝事業として、愛媛県が「ファミリーハウスあい」を建設し、施設の管理運営を委託されるのをきっかけにNPO法人として設立することとなった。</li> </ul>	<p>(各32点満点)</p> <p>評価指標は千葉県「NPO家計簿」より</p>
今、力を入れている活動	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ファミリーハウスあい（慢性疾患児家族滞在施設）の運営</li> <li>・ 難病や障害を持つ子どもと家族を支援するネットワークの構築</li> <li>・ 上記に関連しての研修会の開催、社会資源リストの作成</li> <li>・ 難病や障害を持つ子どもと家族のための「媛っこすくすく愛キャンプ」の開催</li> </ul>	
主な活動実績	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ファミリーハウスあい」の運営（平成15年4月1日より）</li> <li>・ 難病や障害をもつ子どもと家族のための、お泊まり会やキャンプの実施（毎年実施）</li> <li>・ 小児慢性特定疾患児支援相談事業（愛媛県委託）（平成16年8月より）</li> <li>・ クリスマス会やチャリティコンサートの開催（年1回程度）</li> <li>・ 難病や障害をもつ子どもと家族の支援を推進するための研修会の開催</li> <li>・ 全国滞在施設ネットワーク会議への参加</li> </ul>	

# NPO連携シート

団体の目的・目標	団体の強み(長所)
<p>難病や障害をもつ子どもたち及びその家族を支援すること。</p> <p>上記の目的を達成するためにファミリーハウスあい(慢性疾患児家族滞在施設)の運営(愛媛県委託) 患児と家族を対象にしたお泊まり会やキャンプ及びチャリティコンサート等の開催 疾患児家族の支援相談事業、研修会の開催等</p> <p style="text-align: right;">を実施しています。</p>	<p>構成メンバー(理事)に医療・福祉・教育関係者が多く在籍し、多方面において連携しファミリーハウスの運営だけでなく、キャンプ、コンサートなど様々な活動を行っている。</p> <p>他の患児支援団体等との連携もある。</p>
<p>今後、団体に必要だと思われること・モノなど</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・財務体制強化のための会員の獲得</li> <li>・サポートスタッフの拡充。</li> </ul>	
<p>目標達成のため連携したいことがあればお書きください。                  どんな団体と?どんな風に? (アイデア程度でいいです)</p>	
<p>連携といっても、こちら側から企業に対して何が提供できるかがピンときません。</p> <p>我々としては、金銭的な援助はもちろんとして、たとえば、春のファミリーハウスあいでのお泊まり会、夏のキャンプ(県下各地)は恒例行事となっていますが、多額の経費が必要となるため参加者への負担も大きくなってしまいます。</p> <p>その中で、食材、交通手段(バス等)、宿泊場所(旅館・民宿等)などの支援があれば非常に有難いです。</p>	

# NPO自己評価チェックリスト

出展:千葉県「NPO家計簿フォーマット」より

このチェックリストは、みなさんが自分たちの団体を振り返り、よりよい活動にしていくための指標です。  
また評価内容を公開することで、団体の透明性が増し、市民の信頼を得ることができます。  
点数は1:できていない 2:あまりできていない 3:まあまあできている 4:できている です。

1. 課題・ニーズを発見する力		合計:	20
<b>◆様々な手法による課題・ニーズの把握</b>			
1) 参加者、利用者の方々と話をして情報収集をしている。			3
2) 課題やニーズを把握するためのアンケート等の調査をしている。			3
3) 地域や他の団体、関係機関との意見交換や交流の場を設けている。			2
4) 行政、または新聞、書籍、テレビなどのマスメディアから情報収集をしている。			3
<b>◆課題・ニーズを把握するための環境</b>			
1) 課題やニーズを調査するための人材や環境が整っている。			3
2) 課題やニーズを発見するためのネットワークや仕組みを持っている。			3
3) 課題やニーズについて得た情報について、団体で話し合っている。			1
4) 課題やニーズについて得た情報を事業に活かしている。			2
2. 広報を活かす力		合計:	16
<b>◆様々な手法による広報活動</b>			
1) 機関紙、ホームページ等で団体の活動を紹介している。			4
2) 行政が発行する広報誌や新聞、テレビ等のマスメディアを活用している。			2
3) 様々な行事やイベント等に参加して、団体の活動をPRしている。			2
<b>◆広報の対象についての調査、活用</b>			
1) 伝えたい対象者がはっきりわかっている。			2
2) 伝えたい対象者について、事前に情報を収集している。			1
3) 得た情報や調査の結果が、広報をするときに効果的に反映されている。			2
<b>◆広報結果の調査、整理</b>			
1) 広報をした結果について振り返りなどの調査をしている。			1
<b>◆広報活動の環境</b>			
1) 広報に関する仕事ができる専門家やスタッフがいる。			2
3. 組織を育てる力		合計:	14
<b>◆人材の受け入れ、育成</b>			
1) 事業に参加を希望する人を受け入れている。			2
2) スタッフや新人が研修するための機会を、組織内外において設けている。			1
<b>◆組織全体で進める体制</b>			
1) 理事会と現場のスタッフとの意思の疎通や連携がうまく取れている。			2
2) スタッフ全員で団体の課題や事業等について定期的に話し合っている。			2

◆外部力の導入、活用

- |   |   |
|---|---|
| 1) 分野の異なる団体や企業が開催しているフォーラム等の集まりに参加している。 | 1 |
| 2) 地域や他の団体等と勉強会や研修会をしている。               | 1 |
| 3) 外部の人を積極的に活用している(インターンシップ等)           | 1 |

◆仕事を行う環境

- |  |   |
|--|---|
| 1) スタッフやボランティアが安心・安全に活動できる制度(保険等)が整っている。 | 4 |
|--|---|

4. 事業を推進する力 合計: 23

◆目標や計画の設定、立案

- |   |   |
|---|---|
| 1) 団体のビジョン、社会的な役割、活動の将来像が描かれている。        | 3 |
| 2) 目標を実現するための事業について具体的な目標や実施計画が立てられている。 | 3 |

◆取り組みの姿勢、実施体制

- |   |   |
|---|---|
| 1) 目標や計画の設定、立案が団体内で理解、共有化され、実現に向けて組織全体で取り組んでいる。 | 3 |
| 2) 事業の企画、運営管理、総務(労務、経理)についてよくわかる人がいる。           | 4 |
| 3) 事業を進める上で、多様なネットワークからの支援、協力を求めることができる。        | 2 |

◆事業評価、分析、活用

- |  |   |
|--|---|
| 1) 計画と実績の、経費バランスの評価、検証ができています。         | 3 |
| 2) 費用対効果を含めた事業の成果について全体で検討し、改善、活用している。 | 3 |
| 3) 外部からの意見、要望、問い合わせ、クレーム等を事業へ反映させている。  | 2 |

5. 財源を生み出す力 合計: 23

◆経営の安定化を図る活動

- |   |   |
|---|---|
| 1) 事業づくりのための営業的活動や企画提案等をしている。           | 2 |
| 2) 安定した収益を得るための基盤となる会員拡大や事業づくりに取り組んでいる。 | 4 |

◆事業の創出、財源確保の手法

- |   |   |
|---|---|
| 1) 他の団体、または企業との連携や協働事業に取り組んでいる。         | 4 |
| 2) 企業や行政等が実施する公募事業(委託事業等)に応募している。       | 3 |
| 3) 行政、企業、市民等による補助金、支援金を活用している。          | 2 |
| 4) 財源を確保するために団体独自の方法がある。                | 3 |
| 5) 様々な地域資源(ヒト、モノ、カネ、情報、文化、産業など)を活用している。 | 3 |

◆専門機関の活用

- |                                      |   |
|--------------------------------------|---|
| 1) 団体経営や事業の運営等について中間支援団体や専門家に相談している。 | 2 |
|--------------------------------------|---|